



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年2月8日

上場会社名 **株式会社 ダスキン** 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 4665 URL <http://www.duskin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 英幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西山 精也 TEL 06 (6387) 3411 (大代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	145,586	△1.6	11,087	0.5	12,209	2.1	6,830	2.4
19年3月期第3四半期	147,904	—	11,034	—	11,956	—	6,668	—
19年3月期	193,790	—	13,986	—	14,944	—	8,407	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	101	37	—	—
19年3月期第3四半期	118	46	—	—
19年3月期	142	87	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第3四半期	196,019		141,074		71.4		2,076	32
19年3月期第3四半期	206,545		135,338		65.1		2,034	34
19年3月期	205,193		139,763		67.5		2,055	22

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	6,060		△10,843		△7,986		22,119	
19年3月期第3四半期	13,935		△12,657		12,899		48,330	
19年3月期	18,364		△27,769		10,061		34,894	

(注) 連結経営成績の19年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、18年3月期第3四半期の開示を行っていないため記載しておりません。

2. 配当の状況

(基準日)	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	0 00	40 00	40 00
20年3月期	0 00	—	40 00
20年3月期(予想)	—	40 00	

(注)19年3月期 期末配当の内訳 記念配当 10円00銭

当社は、配当予想の増額修正を行っており、配当については本日(平成20年2月8日)公表の「平成20年3月期期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	195,700	1.0	12,000	△14.2	13,300	△11.0	7,100	△15.6	105	36

平成20年3月期の連結業績予想につきましては平成19年11月14日公表時から変更はございません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1－3四半期（平成19年4月1日～平成19年12月31日）における我が国の経済は、引続き好調に推移する企業業績に支えられ、景気は緩やかな拡大傾向にありました。しかしながら原油価格、穀物価格等の高騰や米国のサブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱等の不安要因から先行きの不透明感が増す状況が続き、更には年金問題や税制改正に伴う税負担感の増大等から、個人消費は力強さを欠く状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、当期より取組んでおります中期経営方針「共生と飛躍」の基本方針に従って、事業基盤の整備に全力を挙げる一方、各事業においては地道な営業活動に注力しております。

当第1－3四半期の業績は、愛の店関連事業、ケアサービス事業及びその他事業が前年同四半期（以下、前年同期）並に推移したものの、一昨年12月にミスタードーナツ事業において新たにポイントカード制度を導入したことで本部・加盟店間の取引方法を変更したことによりフードサービス事業が減収となり、売上高は1,455億86百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は110億87百万円（前年同期比0.5%増）、経常利益は122億9百万円（前年同期比2.1%増）、四半期純利益は68億30百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

[事業の種類別セグメント毎の状況]

(1) 愛の店関連事業

当社主力事業であるクリーンサービス事業は、全体の売上高はほぼ前年同期並でした。

市場別では、家庭市場においては、主力であるモップ関連商品において新機能モップ（アレル物質抑制成分配合）を中心とした床用モップは好調に推移しましたが、ハンディモップ及びクロス商品群が伸び悩み、全体で前年同期を下回りました。マット商品、防災関連商品群の売上は順調に推移しました。事業所市場においては、主力のマット商品、とりわけオーダーメイドマット、吸塵・吸水マットの売上は順調に推移し、また一昨年秋発売の空気清浄機「クリーン空感」等の売上も堅調でした。昨年10月よりお客様からの注文・要望に確実に対応できるユニット制度を導入し、情報連携システムによる加盟店と当社のネットワーク連携がスタートしました。

ヘルス&ビューティ事業では、健康食品群の売上が前年に比べ減少しましたが、ボディケア商品群の売上は堅調に推移し、全体の売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、愛の店関連事業全体では、売上高は820億81百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は146億82百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

(2) フードサービス事業

ミスタードーナツ事業は、一昨年12月に従来の「ミスドカードキャンペーン」から変更した「ミスドクラブポイントカード」を使った新しいサービスを開始し1年が経過しました。その間お客様からは概ね好評を博しておりますものの、この制度変更に伴い、本部・加盟店間の取引方法を変更し、加盟店への景品等の販売を廃止したことにより販促品売上が前年同期に比べて減少しました。生地のおいしさにこだわった「リッチドーナツ」「ボン・デ・抹茶」等の新商品や映画「ザ・シンプソンズ」とのタイアップによる期間限定商品「ザ・シンプソンズドーナツ」が好調に推移する一方、飲茶の売上は前年同期を下回り、ロイヤルティ売上は微減となりました。更に、不採算直営店の統廃合を進め、稼働店舗数が減少したことから、直営店売上も減少し、事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

当期より展開しております大人のドーナツカフェ「アンドナンド」は順調に推移しており、11月には第2号「神保町ショップ」をオープンしました。また、12月にはトランス脂肪酸を低減した新たなフライオイルを導入する等、品質向上への取組みに一層注力致しました。他方、世界的な穀物価格の上昇を背景に原材料価格が高騰していることで利益確保は一段と厳しくなっており、平成20年2月には販売価格を改定しております。

その他のフードサービス事業では、カフェデュモンド事業、かつアンドかつ事業が堅調に推移したものの、その他レストラン事業及び海鮮丼チェーンを運営する株式会社どんの売上高は、店舗数の減少により前年同期を下回りました。

以上の結果、フードサービス事業全体では、売上高は394億52百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は26億62百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

(3) ケアサービス事業

ケアサービス（サービスマスター、メリーメイド、ターミニックス、トゥルグリーン）は、サービスマスターの売上が前年同期を下回ったものの、メリーメイド、ターミニックス、トゥルグリーンは前年同期を上回り、全体の売上高は、ほぼ前年同期並となりました。主力のサービスマスターにつきましては、昨年の夏は猛暑でありましたが、高温多湿となる時期が例年に比べ若干遅かったこと等が影響して「エアコンクリーニングサービス」が不調であったことに加え、大型商業施設の清掃をはじめとする管理・運営のサポートを行う「ファシリティマネジメントサービス」において期初に大口のお客様の解約がありました。メリーメイドは、「お掃除おまかせサービス」「家事おてつだいサービス」の売上が新規出店及び定期サービス新規契約の伸長により増加、ターミニックスも事業向け「ゴキブリ駆除サービス」が好調に推移、更には加盟店への商品販売も堅調に推移しました。

ホームインステッド事業（介護保険適用外の高齢者介護サービス）は、加盟店の新規お客様が増加し、お客様売上が前年同期を上回ったことによりロイヤルティ売上が伸長し、また直営店売上也堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

介護保険適用の高齢者介護サービスを事業とする株式会社ダスキンゼロケアは、グループホーム、デイサービスの利用者数が伸長し、売上高は前年同期を上回りました。

株式会社ダスキンヘルスケアで展開している病院施設のマネジメントサービスは、新規お客様の獲得が順調に進み、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、ケアサービス事業全体では、売上高は162億79百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は5億25百万円（前年同期比253.1%増）となりました。

(4) その他事業

レントオール事業は、お客様売上が前年同期を上回ったことによりロイヤルティ売上は増加しましたが、不採算直営店の統廃合を進めたこと、加盟店向けの貸出し商品の売上が低調であったことにより事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

ユニフォームサービス事業については、大口のお客様の解約もありましたが、クリーニング売上は順調に推移し、事業全体の売上高はほぼ前年同期並となりました。

オフィスコーヒーサービスと水をお届けするドリンクサービス事業は、加盟店数及び販売員数が順調に増加し、売上高は前年同期を上回りました。

またリース事業等を展開しておりますダスキン共益株式会社は、リース部門売上は前年同期並でしたが、原油の市場価格高騰と販売先工場の省エネ設備への切替えの影響から石油部門売上は減少し、またOA機器販売部門売上也販売台数が減少したことから、事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、その他事業全体では、売上高は77億73百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は4億68百万円（前年同期比136.3%増）となりました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は1,960億19百万円となりました。前連結会計年度末（以下「前期末」という）と比較して91億74万円減少しております。その要因は、債券購入等により投資有価証券が65億29百万円、年末の金融機関の休業により受取手形及び売掛金が24億59百万円増加したものの短期資金運用のコマーシャルペーパー償還等により有価証券が99億84百万円、現金及び預金が86億7百万円減少したこと等であります。

負債合計は549億44百万円となり、前期末と比較して104億85百万円減少しております。その要因は、返済により短期及び長期の借入金が53億15百万円、法人税等の支払により未払法人税等が54億76百万円減少したこと等であります。

純資産合計は1,410億74百万円となり、前期末と比較して13億11百万円増加しております。その要因は、投資有価証券の評価替によりその他有価証券評価差額金が26億53百万円減少したものの第3四半期純利益68億30百万円と剰余金の配当26億95百万円との差引により利益剰余金が41億35百万円増加したこと等であります。

また、当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは60億60百万円（対前年同期比78億75百万円減）となりました。その要因は、税金等調整前四半期純利益が116億24百万円（同5億32百万円減）、減価償却費が49億7百万円（同7億21百万円増）あったのに対し、法人税等の支払額が98億34百万円（同77億38百万円増）あったこと等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは108億43百万円（同18億14百万円増）の資金支出となりました。その要因は、投資有価証券の取得による支出が119億9百万円（同17億円増）あったこと等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは79億86百万円（同208億85百万円減）の資金支出となりました。その要因は、配当金の支払額が26億90百万円（同10億86百万円増）及び借入金の減少が53億15百万円（同17億44百万円減）あったこと等であります。なお、前年同期には株式上場等による自己株式の売却による収入210億86百万円が含まれております。

これらの結果、当第3四半期末の現金同等物の残高は、前期末残高の348億94百万円から127億74百万円減少し221億19百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の業績見通しにつきましては、当第3四半期は概ね計画通り推移したことから、平成19年11月14日に公表致しました予想を変更しておりません。

なお、1株当たり期末配当予想を変更致しております。平成20年2月8日公表の「平成20年3月期期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等は税効果会計を考慮した年間予測税率をもとに簡便な方法により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(イ) 固定資産の減価償却費の方法

法人税法が改正されたことを受けて、当連結会計年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。なお、この変更により、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ8百万円減少しております。

(ロ) 役員退職引当金

当社は、平成19年4月26日開催の取締役会において、取締役及び監査役の退職慰労金制度を平成19年6月27日開催の定時株主総会終結の時をもって廃止することを決議致しました。この制度廃止に伴い、当該総会において、在任期間に応じた退職慰労金を打ち切り支給することが決議されております。なおこの在任期間に対応する退職慰労金相当額については長期未払金として固定負債に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		当第3四半期末 (平成19年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)		期首増減 金額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金	51,372		23,344		31,952		△8,607
2 受取手形及び売掛金	13,631		15,130		12,671		2,459
3 有価証券	3,994		1,999		11,983		△9,984
4 たな卸資産	6,196		6,703		6,886		△183
5 繰延税金資産	1,170		1,971		2,199		△228
6 その他	2,748		2,791		2,223		568
貸倒引当金	△384		△39		△56		16
流動資産合計	78,729	38.1	51,901	26.5	67,861	33.1	△15,960
II 固定資産							
1 有形固定資産							
(1) 建物及び構築物	19,024		17,960		18,861		△901
(2) 機械装置及び運搬具	7,324		7,171		7,373		△201
(3) 土地	23,859		23,738		23,935		△197
(4) 建設仮勘定	180		207		364		△157
(5) その他	6,780		6,357		6,560		△202
有形固定資産合計	57,169	27.7	55,434	28.3	57,095	27.8	△1,660
2 無形固定資産	5,277	2.6	6,290	3.2	5,362	2.6	928
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	46,911		63,870		57,340		6,529
(2) 長期貸付金	333		249		292		△43
(3) 繰延税金資産	4,349		5,714		4,231		1,482
(4) 差入保証金	12,627		11,591		12,015		△423
(5) その他	1,935		1,436		2,114		△678
貸倒引当金	△789		△468		△1,120		651
投資その他の資産合計	65,369	31.6	82,392	42.0	74,874	36.5	7,518
固定資産合計	127,816	61.9	144,117	73.5	137,332	66.9	6,806
資産合計	206,545	100.0	196,019	100.0	205,193	100.0	△9,174

科目	前第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		当第3四半期末 (平成19年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)		期首増減
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)							
I 流動負債							
1 買掛金	8,496		7,982		7,975		7
2 短期借入金	4,100		900		4,100		△3,200
3 一年以内返済予定の 長期借入金	2,416		2,995		3,082		△87
4 未払法人税等	4,219		830		6,307		△5,476
5 賞与引当金	3,119		2,042		2,474		△432
6 役員賞与引当金	—		—		100		△100
7 ポイント引当金	—		963		868		95
8 未払金	8,431		5,906		6,255		△349
9 レンタル品預り保証金	12,538		12,624		11,784		839
10 その他	4,597		5,076		5,167		△90
流動負債合計	47,920	23.2	39,320	20.1	48,114	23.5	△8,794
II 固定負債							
1 社債	4,000		—		—		—
2 長期借入金	10,413		6,351		8,379		△2,028
3 退職給付引当金	7,217		7,814		7,315		499
4 役員退職引当金	234		35		256		△221
5 債務保証損失引当金	31		67		26		41
6 長期未払金	—		164		—		164
7 長期預り保証金	954		931		947		△16
8 負ののれん	435		260		390		△130
固定負債合計	23,286	11.3	15,624	8.0	17,314	8.4	△1,690
負債合計	71,206	34.5	54,944	28.0	65,429	31.9	△10,485
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金	11,352	5.5	11,352	5.8	11,352	5.5	—
2 資本剰余金	12,134	5.9	13,075	6.7	13,075	6.4	—
3 利益剰余金	111,915	54.2	117,790	60.1	113,655	55.4	4,135
4 自己株式	△1,214	△0.6	△17	△0.0	△11	△0.0	△5
株主資本合計	134,188	65.0	142,202	72.5	138,073	67.3	4,129
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券評価差額金	310	0.2	△2,252	△1.1	401	0.2	△2,653
2 繰延ヘッジ損益	—	—	6	0.0	31	0.0	△25
3 為替換算調整勘定	△47	△0.0	△43	△0.0	△7	△0.0	△35
評価・換算差額等合計	263	0.1	△2,288	△1.2	424	0.2	△2,713
III 少数株主持分	886	0.4	1,160	0.6	1,265	0.6	△104
純資産合計	135,338	65.5	141,074	72.0	139,763	68.1	1,311
負債純資産合計	206,545	100.0	196,019	100.0	205,193	100.0	△9,174

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		増減 金額 (百万円)	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)		金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	147,904	100.0	145,586	100.0	△2,317	193,790	100.0
II 売上原価	83,527	56.5	81,754	56.2	△1,772	108,624	56.1
売上総利益	64,377	43.5	63,832	43.8	△544	85,165	43.9
III 販売費及び一般管理費	53,343	36.1	52,745	36.2	△598	71,178	36.7
営業利益	11,034	7.4	11,087	7.6	53	13,986	7.2
IV 営業外収益	2,089	1.4	2,552	1.8	463	2,665	1.4
1 受取利息	394		754		360	590	
2 受取配当金	64		171		107	96	
3 設備等賃貸収入	517		730		212	734	
4 紹介等手数料収入	197		165		△31	240	
5 負ののれん償却額	130		130		△0	173	
6 持分法による投資利益	42		—		△42	—	
7 顧客権譲渡益	173		13		△160	173	
8 雑収入	569		586		17	655	
V 営業外費用	1,166	0.8	1,430	1.0	264	1,707	0.9
1 支払利息	245		142		△102	309	
2 設備等賃貸費用	260		293		33	345	
3 たな卸資産評価損	230		111		△119	365	
4 製品等廃棄損	88		225		136	210	
5 持分法による投資損失	—		483		483	17	
6 株式上場費用	246		—		△246	246	
7 雑損失	94		173		78	212	
経常利益	11,956	8.0	12,209	8.4	252	14,944	7.7
VI 特別利益	550	0.4	357	0.2	△193	649	0.3
1 固定資産売却益	5		67		62	5	
2 投資有価証券売却益	23		119		96	23	
3 貸倒引当金戻入益	277		131		△145	279	
4 持分変動利益	—		—		—	34	
5 その他	245		38		△206	307	
VII 特別損失	350	0.2	942	0.6	591	528	0.3
1 固定資産売却損	2		1		△1	5	
2 固定資産廃棄損	161		241		80	247	
3 減損損失	80		432		352	109	
4 介護報酬返還損失	—		162		△162	—	
5 その他	106		103		△2	165	
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	12,156	8.2	11,624	8.0	△532	15,065	7.8
法人税等	5,460	3.7	4,919	3.4	△541	6,641	3.4
少数株主利益又は 少数株主損失 (△)	27	0.0	△125	△0.1	△153	15	0.0
四半期(当期) 純利益	6,668	4.5	6,830	4.7	162	8,407	4.3



(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計			
平成18年3月31日 残高 (百万円)	11,352	5,165	106,935	△15,317	108,136	597	△76	520	366	109,023	
第3四半期中の 変動額											
剰余金の配当			△1,603		△1,603					△1,603	
役員賞与の支給額			△84		△84					△84	
四半期純利益			6,668		6,668					6,668	
自己株式の取得				△14	△14					△14	
自己株式の処分		9,348		11,737	21,086					21,086	
自己株式の消却		△2,379		2,379	—					—	
株主資本以外の項目の 第3四半期中の変動額 (純額)						△286	29	△256	519	263	
第3四半期中の 変動額合計	—	6,969	4,979	14,103	26,052	△286	29	△256	519	26,315	
平成18年12月31日 残高 (百万円)	11,352	12,134	111,915	△1,214	134,188	310	△47	263	886	135,338	

当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日 残高 (百万円)	11,352	13,075	113,655	△11	138,073	401	31	△7	424	1,265	139,763
第3四半期中の 変動額											
剰余金の配当			△2,695		△2,695						△2,695
四半期純利益			6,830		6,830						6,830
自己株式の取得				△5	△5						△5
株主資本以外の項目の 第3四半期中の 変動額 (純額)						△2,653	△25	△35	△2,713	△104	△2,818
第3四半期中の 変動額合計			4,135	△5	4,129	△2,653	△25	△35	△2,713	△104	1,311
平成19年12月31日 残高 (百万円)	11,352	13,075	117,790	△17	142,202	△2,252	6	△43	△2,288	1,160	141,074

(参考) 前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日 残高 (百万円)	11,352	5,165	106,935	△15,317	108,136	597	—	△76	520	366	109,023
連結会計年度中の 変動額											
剰余金の配当			△1,603		△1,603						△1,603
役員賞与の支給額			△84		△84						△84
当期純利益			8,407		8,407						8,407
自己株式の取得				△19	△19						△19
自己株式の処分		10,290		12,946	23,236						23,236
自己株式の消却		△2,379		2,379	—						—
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						△196	31	68	△95	898	803
連結会計年度中の 変動額合計	—	7,910	6,719	15,306	29,936	△196	31	68	△95	898	30,740
平成19年3月31日 残高 (百万円)	11,352	13,075	113,655	△11	138,073	401	31	△7	424	1,265	139,763

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	増減	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1 税金等調整前四半期 (当期) 純利益	12,156	11,624	△532	15,065
2 減価償却費	4,186	4,907	721	5,590
3 のれん償却額	174	174	0	233
4 貸倒引当金の増減額 (減少: △)	△248	△110	138	△237
5 貸倒損失	3	1	△1	6
6 受取利息及び配当金	△458	△926	△467	△687
7 支払利息	245	142	△102	309
8 為替差損益 (益: △)	30	1	△28	△2
9 持分法による投資損益 (益: △)	△42	483	525	17
10 持分変動損益 (益: △)	—	—	—	△34
11 有形固定資産売却益	△5	△67	△62	△5
12 有形固定資産売却損	2	1	△1	5
13 有形固定資産除却損	120	353	233	449
14 投資有価証券売却益	—	△119	△119	△23
15 投資有価証券評価損	0	—	△0	0
16 営業譲渡益	△173	△13	160	△173
17 減損損失	80	432	352	109
18 売上債権の増減額 (増加: △)	△2,413	△2,469	△55	△1,519
19 たな卸資産の増減額 (増加: △)	△461	184	646	△1,151
20 仕入債務の増減額 (減少: △)	225	41	△183	△295
21 賞与引当金の増減額 (減少: △)	1,265	△432	△1,697	619
22 役員賞与引当金の増減額 (減少: △)	—	△100	△100	100
23 ポイント引当金の増減額 (減少: △)	—	95	95	868
24 退職給付引当金の増減額 (減少: △)	484	499	14	582
25 役員退職引当金の増減額 (減少: △)	31	△221	△252	53
26 債務保証損失引当金の増減額 (減少: △)	△20	41	61	△25
27 未払消費税等の増減額 (減少: △)	△192	181	374	△152
28 その他資産の増減額 (増加: △)	99	308	208	494
29 その他負債の増減額 (減少: △)	671	91	△579	△2
30 役員賞与の支払額	△84	—	84	△84
小計	15,675	15,109	△565	20,109
31 利息及び配当金の受取額	565	914	349	778
32 利息の支払額	△209	△129	79	△308
33 法人税等の支払額	△2,095	△9,834	△7,738	△2,215
営業活動による キャッシュ・フロー	13,935	6,060	△7,875	18,364

	前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	増減	前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 定期預金の増減額 (増加: △)	88	5,821	5,733	77
2 有形固定資産の取得による支出	△3,263	△3,951	△687	△8,030
3 有形固定資産の売却による収入	80	503	423	104
4 投資有価証券の取得による支出	△10,208	△11,909	△1,700	△24,617
5 投資有価証券の売却による収入	6	424	418	29
6 貸付けによる支出	△14	△2	12	△18
7 貸付金の回収による収入	2,373	90	△2,283	2,408
8 差入保証金の支出	△144	△114	30	△588
9 差入保証金の回収による収入	886	292	△594	2,190
10 営業譲受による支出	△122	—	122	△122
11 営業権譲渡による収入	234	13	△220	234
12 その他投資による支出	△2,611	△2,117	493	△3,122
13 その他投資の回収による収入	38	106	68	3,686
投資活動による キャッシュ・フロー	△12,657	△10,843	1,814	△27,769
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1 短期借入金の増減額 (減少: △)	△600	△3,200	△2,600	△600
2 長期借入金の返済による支出	△6,460	△2,115	4,344	△7,828
3 社債の償還による支出	—	—	—	△4,027
4 少数株主からの払込による収入	495	30	△465	908
5 自己株式の取得による支出	△14	△5	8	△19
6 自己株式の売却による収入	21,086	—	△21,086	23,236
7 配当金の支払額	△1,603	△2,690	△1,086	△1,603
8 少数株主への配当金の支払額	△4	△4	—	△4
財務活動による キャッシュ・フロー	12,899	△7,986	△20,885	10,061
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△5	△7	85
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	14,178	△12,774	△26,953	742
VI 現金及び現金同等物の期首残高	34,151	34,894	742	34,151
VII 現金及び現金同等物の 四半期 (期末) 残高	48,330	22,119	△26,210	34,894

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

	愛の店関連 事業 (百万円)	フードサー ビス事業 (百万円)	ケアサー ビス事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	82,169	41,981	15,865	7,888	147,904	—	147,904
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	0	37	2,570	2,630	(2,630)	—
計	82,191	41,981	15,902	10,458	150,535	(2,630)	147,904
営業費用	67,078	39,507	15,753	10,260	132,600	4,270	136,870
営業利益 (又は営業損失)	15,113	2,474	148	198	17,934	(6,900)	11,034

当第3四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	愛の店関連 事業 (百万円)	フードサー ビス事業 (百万円)	ケアサー ビス事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	82,081	39,452	16,279	7,773	145,586	—	145,586
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	0	51	2,439	2,503	(2,503)	—
計	82,093	39,452	16,331	10,212	148,090	(2,503)	145,586
営業費用	67,411	36,790	15,805	9,744	129,751	4,748	134,499
営業利益 (又は営業損失)	14,682	2,662	525	468	18,338	(7,251)	11,087

(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	愛の店関連 事業 (百万円)	フードサー ビス事業 (百万円)	ケアサー ビス事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	107,459	55,331	20,678	10,321	193,790	—	193,790
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	0	47	3,303	3,382	(3,382)	—
計	107,490	55,331	20,726	13,624	197,173	(3,382)	193,790
営業費用	87,623	52,228	20,724	13,396	173,972	5,830	179,803
営業利益	19,866	3,103	1	228	23,200	(9,213)	13,986

(注) 1. 事業区分は、売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な内容

(1) 愛の店関連事業……………清掃用資器材の賃貸、日用品・化粧品の販売、キャビネットタオルの賃貸、トイレタリー商品の販売、産業用ウエスの賃貸、浄水器・空気清浄機の賃貸等

(2) フードサービス事業…………ドーナツ・ベニエ・オープン商品・飲茶並びに料理飲食物の販売、ピザの宅配サービス等

(3) ケアサービス事業…………ハウスクリーニングサービス、家事代行サービス、害虫駆除・予防サービス、樹木・芝生管理サービス、工場・事務所施設管理サービス、介助サービス、病院のマネジメントサービス、介護保険法による介護サービス等

(4) その他事業……………旅行用品・ベビー用品・レジャー用品・健康及び介護用品等の賃貸並びに販売、ユニフォームの賃貸、オフィスコーヒー等の販売、事務用機器及び車輛のリース、保険代理業等

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、前第3四半期 6,111百万円、当第3四半期 6,598百万円、前連結会計年度 8,295百万円であり、その主なものは、当社の本社管理部門に係る費用であります。